



市長所信表明



▲所信表明の一部を抜粋して紹介しています。全文は市公式ホームページをご覧ください

3月6日に福津市長に就任した福井崇郎市長が、6月定例議会で任期4年間の所信を表明しました。そこで示したこれからのまちづくりの基本指針の概要を5つの柱に沿って紹介します。

「はじめに」

prologue

福

津市政をさらに身近に感じていただくため、市議会議員としての経験も活かし、市民の皆様の「声」をお聞きし、市政に期待する多くの思いを「形」にできるリーダーを目指してまいります。そして「暮らしを豊かに」し、稼げるまちを作っていきます。

多様な市民の「挑戦」する心、ひいては未来を担う子どもたちの夢や情熱を支え、希望を持って暮らし続けるまちを皆様と描いていきます。

今、第一に取り組まなくてはならないのは、暮らしを豊かにするまちづくりです。物価高など生活に大きな影響を受けているかたがたの生活を守るための支援策を実施するなど、スピード感を持って進めてまいります。あわせて、20周年の節目の年を迎えた本市の更なる発展に取り組めます。先人たちが築きあ

げてきた市の歴史と魅力を継承し、多くのかたがたがまちへの愛着と誇りを深め、未来につながる住みよいまちをつくっていきます。

住みよいまち、それは市民の人生のステージごとに適切な支援がなされるまちです。その実現のためには、増収を導く稼ぐ施策などの財政の上手な舵取りが求められます。

「できない理由ではなく、できる方法を考えていく市役所」へと変革していくため、市政に経営感覚を持ち込み、稼げるまちを実現し、市民満足度を高めていきます。

以上が私の市長としてのまちづくりに対する思いです。これらを念頭に置き、市政運営に当たってまいります。

私が市長に就任し、3カ月が経過し、市役所職員や団体などさまざまな関係者と市政に関する対話を重ねてまいりました。その結果を踏まえ、選挙期間中の公約などを主に、今後4年間に於いて進めていく取り組みを申し述べさせていただきます。

1 次世代の人材育成

全国的に少子化が進行する中、本市には多くの子どもたちが暮らし、学んでいます。福津の未来を担う子どもたちの成長を第一に考え、その夢や情熱を支えるとともに、子育て世帯への切れ目ない伴走支援や子どもの権利擁護、保育・教育の質の向上など、安心して子どもを産み育てやすい環境の整備に取り組めます。

1 学校過密化の緩和対策

- 新設小学校建設の着実な進行
- 福間南小学校の特別教室不足や福間中学校における過密化への対応
- 学校施設の改修や福間中学校の校区選択制、校区外通学制度などの対策

2 ICTを活かした学びの提供

- 現在の小・中学校のICT学習環境を活かしたプログラミング教育やキャリア教育、課題解決型学習の導入

3 子育て世代支援の段階的实施

- 子どもにかかる医療費や第2子以降の保育料・学校給食費負担の無償化などを独自で行っている自治体もある。本市でも段階的な実施などを検討

4 収入増加策を検討し財源確保を

- 市長の給与10%カットも含めた、子ども・子育ての取り組みの財源となる収入増加策について、より効果的な手法を検討



2 産業と環境で未来を創造

本市は、福岡市などへの交通の利便性の良さなど、生活利便性の高さで1次産業の基盤でもある良好な自然環境、歴史資産の豊かさなどの特徴がバランスよく交じり合い、まちの魅力を形成しています。これらの魅力の保全と活用を図り、域内の経済循環力を向上させ自立したまちを目指すことで、まちの未来を創造していきます。

1 新たな地域の総合産業を創出

- 循環型社会の実現とカーボンニュートラルを推進
- 商工業・農業・水産業・観光業を融合し、新たな地域の総合産業を創出

2 農水産業従事者の所得向上へ

- 持続可能なスマート農水産業を推進し、作業を効率化・省力化
- 6次産業化や市の産品の付加価値向上
- 福津産品の流通拡大や新たな地域ブランドの構築の調査研究

3 魅力を活かした観光プロモーション

- 良好な自然環境や豊かな歴史資源を活かし、インバウンドなどの需要に応じた観光プロモーションの実施

4 起業の支援と企業の誘致

- 新たな雇用の場の確保と地域の活性化
- 地域の産業や資源と結び付く企業の誘致



市民の皆様の「声」を聞き
思いを「形」にできるリーダーに。
できない理由ではなく
できる方法を考える市役所への変革を。

福津市長 福井 崇郎



「おわりに」

epilogue

福 岡都市圏の一角に位置する本市は、住環境の整備をはじめとした、これまでのまちづくりの取り組みの成果によって子育て世帯の転入を中心に人口が急増するなど、成長を続けています。この良い流れを滞らせないためにも「行政の継続性」は重要です。私は、現在進めているまちづくりに自身の思い

に沿った取り組みを加えることで、わがまちがさらに成長し、住み続けたいとなるまちになると信じています。

先行きが不透明で将来の予測が困難な現代において、本市を取り巻く社会経済状況は刻々と変化していくものと思われまふ。このような状況下において、限られた財源の中で持続可能なまちづくりを進めるためには、数ある行政需要に対し緊急性・重要性などの視点から優先順位をつけ、柔軟に市政運営にあたる必要があります。

さまざまな状況の変化を受け止めた上で、その時々において最良と考える選

択をしながら、福津の未来を見据えた市政運営に取り組んでまいります。

最後になりますが、大好きな福津の人や歴史、自然を守り、活かしながら市民の誰もがいきいきと活躍し、共に未来を描きながら活動していくまちを目指します。

私をはじめ、福津に関係する人々全てが一丸となって『ONLY 福津・まちの力は、市民の力』でまちづくりに臨んでまいります。市民の皆様、市議会の皆様におかれましては、これまで以上のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月6日
福津市長 福井 崇郎



5 活力ある市役所の実現

福津市をさらに住み続けたいとなるまちにしていくなために、市職員が能力を十分に発揮できる活力を持った行政組織、より市民ニーズに即した市政運営、そのための財源の確保に取り組みます。

1 行政のデジタル化の推進

- デジタル化を進めて時間や財源を生み出すことで新たなサービスを実施

2 ふるさと納税額の増加

- 福津産品の魅力を充実し、発信を強化
- ふるさと納税額が増加するための好循環の創出

3 市民・職員との「対話」の機会創出

- さまざまな人々と語り、対話することで市民ニーズを把握
- 庁内のさまざまな部署との対話を進め、行政諸課題の解決を実施

4 市の情報発信強化

- 情報発信の強化を図ることで、市政への相互理解を促進

5 効率的・効果的な財政運営

- 予算配分などの行政運営の仕組みも検討し、より効率的かつ効果的な財政運営を図る



市民活動を推進していくため、まずは物価高から市民の暮らしを守るための物価高対策に取り組みます。

その上で、市民がいきいきと活躍できるまちにしていくなために、地域で前を向いてチャレンジするかたがたを支え、応援していきます。

1 物価高対策

- 物価高対策として国の動向に併せ、準備が整った取り組みから順次着手、
- 減税に関する庁内プロジェクトチームを設置、5%の個人市民税・法人市民税の減税の実施を検討

2 市民がチャレンジできる環境整備

- 地域でチャレンジする意思を持つ市民が活躍できる機会を創出
- 若者が持っている活力や行動力を社会や地域につないでいけるよう、若者の意見をまちづくりに反映していくことのできる仕組みやルールなどを検討

3 スポーツや文化芸術、生涯学習への参加機会の創出

- スポーツや文化・芸術に触れる、関わる機会を提供
- 郷育カレッジなどの生涯学習に参加する機会の創出



4 市民のチャレンジを応援

最期まで自分らしく安心していきいきと暮らしていくことは、全ての人に共通する願いです。共生社会に向けて、健康寿命の延伸や予防医療の推進をはじめ、障がい者への理解の促進と支援、市民の交通手段の確保、防災・減災に取り組みます。

1 市民の心身の健康を支える

- 高齢者が社会の第一線を退いた後の人生を実りあるものにしていく仕組みづくりの構築
- デジタルヘルスケアの推進

2 障がい者に対する理解の促進と支援

- インクルーシブ保育・教育などの障がい者に対する理解の促進
- 障がい者の就労支援の推進

3 市民の交通手段の確保

- 公共交通については定時定路線を基本に、同路線が行き届かない地域に対してはオンデマンド交通を導入

4 災害に強いまちづくり

- インフラの適切な維持管理や雨水対策などを実施
- 災害に強い地域づくりに向けて、地域を主体とした防災訓練やハザードマップ、避難計画の作成などを推進

